



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく!」
～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

第5回 人を生かす経営全国交流会 in 千葉 参加報告

日時：11月17・18日(木・金) 会場：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール

テーマ：人を生かす企業が地域の未来をひらく

ー 10年ビジョンを持ち、「労使見解」の実践をー



副代表理事 金井 政春

長崎同友会からは大村支部より3名、事務局次長の峰さんと4名での参加でした。大村以外の支部からの参加者が無かった事が非常に残念でした。

1日目のパネルディスカッションは「『人を生かす経営』の実践を進める取り組みを」をテーマに、パネリストとして中同協会長 鋤柄修さん、中同協幹事長 広浜泰久さん、中同協 人を生かす経営推進協議会代表 加藤明彦さんの3名。コーディネーターに中同協 経営労働委員長 中山英敬さんにて120分間のパネル

ディスカッションでした。

パネリスト3名の方は売上高35～50億円と会社の組織がしっかり確立された方々で学ぶべき事が沢山ありました。人を生かす経営は社員が安心して、やりがいを持って働ける環境を作る事だと感じました。その事を実践する為にはまず同友会という「労使見解」をしっかり熟読し学ぶ。次に労使見解を充分考慮した経営指針を作成する。(出来る事なら社員も巻き込んで)その後経営指針の計画実践状況をPDCAで確認しながら取組む必要性を感じました。

2日目は中同協 顧問 田山謙堂さんより「『労使見解』の歴史から今日的意義を学ぶ」をテーマに報告が



目次

第5回 人を生かす経営全国交流会 in 千葉 参加報告	1	長崎浦上支部 仲間づくり委員会 ミニ例会 開催報告	15
11月例会報告	2	事務局企業訪問	16
九州沖縄代表者会議および第2回幹事会 参加報告	9	入会・交代会員紹介	17
憲章・条例推進本部・政策委員会合同会議 参加報告	10	会員活躍	17
経営理念策定セミナー 開催報告	11	1月例会案内	18
第2回 新入社員フォローアップ研修 開催報告	12	お知らせ	19
私たち、がんばってます! ～新入社員奮闘記～	13	理事会議事録 抜粋	19
佐世保支部 第4回 交流イベント「大イカダに乗り、魚釣り」開催報告	14	会員消息・会員数	20

あり、続いて中同協 社員教育委員長 梶谷俊介さんより「私たちの経営に『労使見解』を生かすために」のテーマで2人で100分の問題・提起がありました。その中で私が印象に残っているのは、社員を単なる勤労者と見るのではなく、かけがえの無い経営のパートナーととらえる。その社員がやりがいを出す為には適正な評価と労働環境の改善、定期的な新卒採用の実践。

労働環境の改善では社員の能力を考慮しながら、個性を発揮できる会社にする。適正な労働時間を守る事はもとより、働き方の多様化を考慮した休日、有給の取りやすい会社にする。又、社員との個人面談等により社員の個人ビジョンを立て達成できるような会社に

する等、言葉としては理解出来ても実践となると正直躊躇する自分を感じました。

しかし、同友会では学びの実践の大切さを常々耳にしてきた者として、労使見解を熟読して経営指針を見直し、社員と共有する事から始めたいと思います。

多くの社員の退職が短期間にあり苦しい毎日でしたが、この学びを我社を見つめ直す機会と捉え明日からの経営に生かしたいです。

2年後の人を生かす経営全国交流会にはもっと多くの会員さんと感動を分かち合いたいと思い帰ってきました。

事務局次長 峰 圭太

二日間にわたり、あらためて労使見解に基づく人を生かす経営（人間尊重の経営）の重要性を学んできました。

一人ひとりが違うということを前提に、人を生かす、人が生きる経営を目指すこと。自立型の社員と共に育つために、社員を単なる働き手としてみるのではなく、かけがえのない頼りがいのあるパートナーと位置付ける人間尊重の経営を目指すこと。1975年の発表から脈々と受け継がれる労使見解をベースにした経営指針を成文化し実践すること。経営者が変わる。変わりゆく情勢の中、強じんな企業をつくるために、社員やその家族、地域にとってなくてはならない企業づくりのためにも同友会理念の総合実践を目指し、様々なツール（企業変革支援プログラムなど）を最大限に

活用、実践することが重要だとあらためて学ぶことができました。

そして今回の交流会、共同求人担当事務局研修会を通して一番強く決意したことが共同求人への立ち上げです。人材不足が大きな経営課題となっている現状、「不足しているから共同求人での採用を」という単なる“人採り”ではなく、若い人材が集まるような企業になるよう、就業規則や労働環境、経営指針など企業づくりにも直結するこの共同求人活動は今の長崎同友会にとってきっと大きな実を結ぶ、結ばせなくてはならないと感じました。今よりもさらに強じんな企業をつくりあげていく過程で新卒採用などを定期的に行い、会社に新しい風が吹き、次世代に繋がっていきます。事務局は「常に経営を維持し発展させる責任」がある企業経営者と共に知恵を出し会員企業・地域の発展のために行動します。

長崎出島支部 例会報告

日 時	11月16日(水) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	我が社の現状と可能性
報 告 者	(株) 観月 代表取締役社長 吉田 大祐 会員



今回の例会はいつもとは違い、私の希望もあり、報告者である私がまず自社の現状の問題や可能性を報告し、それに対して改善策や企画提案などをディスカッションしていただき、アイデアを募るという異例のスタイルを企画しました。よって報告者の私からこの例会報告をさせていただきます。

まず始めに座長から、報告を聞くに当たっての心構え、ディスカッションの狙い、注意事項などの説明をしていただき、より質の高い討論になるように出席者の方々にご理解を促しました。報告の内容は、本当にリアルな売上構成、経費比率、従業員の状況など、かなり赤裸々で討論の材料になるようより多くの内情を報告しました。

報告後に実際に「観月のごま豆腐」を全員に試食してもらいながら討論をしていただき、様々な意見やアイデア、アドバイスを出していただきました。

そもそも本当においしいのかも一度見直してはどうか、賞味期限延長の再研究、規格やデザインの再検討、など具体案を多数出していただきました。また、会社組織に関する点では、弟に現場を任せて社長自ら営業に出る、助成金や補助金を活用して新規事業への取り組み、従業員の条件向上、繁忙期を作らない、な



ど斬新な意見もありました。経営者個人としての点では、職人を辞めて経営に徹する、色々な経営者の本を読む、借入金返済が厳しいのであれば一時停止する制度の案内、など親身な意見もいただきました。

最後にアンケートを用意し、大半の方が回答して下さい私にとって貴重な参考資料になりました。

例会終了後の感想では、他社の事を考える事により自社の事を見直す良いきっかけになった、新しい例会のスタイルが確立されたのではないかと、初めて本当の意味での本音の会になった、などの意見がありました。私が一番の学びを得る事ができました。

この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

(文責 吉田 大祐)

大村支部 例会報告

日 時	11月18日(金) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	年中夢求! 百姓から百笑へ ～物は売らずに夢を売る経営とは～
報 告 者	(有) シュシュ 代表取締役 山口 成美 会員

ユニークなタイトルのもと、例会は始まりました。

大村は昔、観光農業として8～9月だけがフルーツの時期として栄えていたそうですが、それ以外の時期の栄えているものをお客様から聞かれても何も答える

ことができず、「素通りの町」であったと山口さんは言います。山口さんは、おおむら夢ファーム シュシュの代表として、大村を「素通り」の町から、一年中通して農産物のとれる「ストーリーのある町」へと盛り上げていこうと日々尽力されています。

おおむら夢ファームシュシュは、年間49万人のお客様が来園されています。そのうち、女性の割合が75%だそうです。従業員さんも約70名のうち、8割が女性とのことです。女性の方が料理をしたり、買い物好きであったりする割合が多いということで、女性の意見を取り入れ、女性が輝く。まさに女性が主役の場所だと言えるでしょう。



シュシュでは一年中農産物がとれるだけではなく、それらを使ったジェラートやレストラン、洋菓子工房などもあります。他にも地元の花や食材を使って法要やブライダルを行っています。特にブライダルでは、かぼちゃを使ったフラワーアレンジや、パッションフルーツなどを使ったとてもユニークな、まさにシュシュならではの演出が楽しむことができます。外国人観光客に的を絞った民宿や、婚活まで行っていることには驚きで



した。

従業員さんからの知恵や発想をどんどん商品に反映させていき、さらにお客様に楽しんでもらうために随所に遊び心を盛り込んでいる山口さん。夢は、大村での農業に希望を感じてもらい、そして感動してもらうことだと言います。

同友会に参加されている経営者の方々にも夢があると思います。私も、私自身の中にある目標を再確認することができた、そんな例会になりました。

(文責 大村支部 情報広報委員会)

諫早支部 例会報告

日 時	11月16日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	経営体験報告会員は辞書の1ページです。第7弾 ～当社はこんな仕事をおこなってます。～
報 告 者	(有) 嶋崎建設 専務取締役 嶋崎 祐樹 会員



今回、諫早支部では初となる座長制を取り入れ、報告に先立ち座長を務める山崎例会委員長の挨拶から始まりました。

嶋崎さんは大学院卒業後、大手ハウスメーカーに入社され、大手企業ならではの徹底した利益追求、コンプライアンスの徹底、業務の合理化の中で設計と現場



管理で7年間勤務されました。入社後3年間の山口県での設計業務では、月に4～6件の見積りと、2～3件の実施物件に携わり、仕事が終わりに帰る頃には、日付が変わっていたこともあったそうです。

その後、4年間現場監督として宮城県で月に6～12件の業務に従事されたと言う話は、地場の工務店とは違うハウスメーカーの業務の合理化の徹底ぶりが伺えるエピソードではないでしょうか。時には、図面と現場の仕上りが合わず、協力会社の職人さんに手直しをお願いすることもあり、コミュニケーションの取り方にご苦労をされたそうです。

大手ハウスメーカーを退職後、お父様が経営される(有)嶋崎建設に入社し、専務取締役として(有)嶋崎建設1級建築士事務所を開設されました。又、大手



企業のメリット・デメリットを良く理解し、学んだことを活かし会社の将来を見据えてHPの作成、人材確保、人材育成に取り組まれてきました。

人材確保では自社パンフレットを手に、市内の高校の進学指導の先生を訪ね、直接求人のお願いに回ったそうです。その甲斐あって、翌年の4月に新卒者を2名採用されました。

新入社員の教育にあたっては、OJT、OFFJTを取り入れ、毎日の日報作成を徹底させ、半年ごとに次の目標を立てさせることで、現場の技術だけではなく、仕事に対する姿勢や心構えを指導されています。

色々な補助金、助成金を活用しながら、今後自社ブランドの確立や「人間として成長できる会社（有）嶋崎建設」を目指して、次期社長として益々活躍されるに違いないと確信しました。

（文責 後田 隆二）

島原支部 例会報告

日 時	11月17日(木) 19:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	個から集 職人の強みを生かした組織作り ～次の世代に繋げられる会社になる～
報 告 者	(株) 荒木工務店 代表取締役 荒木 博 会員



今回は、島原支部でも例にないゲスト・オブザーバー20人以上という大勢の方が出席され、報告前から荒木さんの人望の厚さが伺えました。私も荒木さんに誘われ同友会に入会した内の一人です。

荒木さんは大学を卒業後、大手ハウスメーカーに内定していたにも関わらず、地元に戻りお父様と弟さんと一緒に家業である大工棟梁という道を選びました。40歳までは家業の知名度を上げるためにがむしゃらに仕事をされたそうです。仕事自体は順調だったそうですが、自分1人で何でもやらなければならない、人には任せられないという気持ちが強く、一番大事な職人さんが、次々と離れていきました。このままでは駄目だと自分を見つめ直し、反省し、勉強に取り組んでいきました。その結果、今まで辞めた方々も戻ってこ



られたそうです。2013年に代表取締役に就任されてからは、従業員と共に毎朝の朝礼で経営理念を唱和するなど会社全員で五年十年先を見つめるという事で頑張っておられます。

私も父が経営する会社の専務取締役を務めています。口で言うのはなんでも簡単なのですが、実際従業員と共に将来のプランを掲げ、その目標に向かって実行していくことは大変なことだと思います。しかし何事も実行しないと先には進みません。これからは私の会社も、少しでも地域のためになるよう努力邁進していきたいと思いました。

（文責 松本 浩幸）

佐世保支部 例会報告

日 時	11月18日(金) 18:30
会 場	波佐見陶磁器工業協同組合
テ ー マ	チャンスを活かす！ ～入会してよかった同友会～
報 告 者	白山陶器(株) 代表取締役 松尾 慶一 会員



今回は佐世保支部初の移動例会として波佐見地区の会員と交流を目的に波佐見陶磁器工業協同組合会館にて例会を行いました。

第一部：同友会との出会い、第2部：人生の転機、第3部：チャンスを活かす、第4部：最後に（締め）の4部構成でした。

第一部は、同友会歴20年、代表理事歴9年目の松尾さんが同友会と出会ったきっかけについて、やきとり屋を営んでいる知り合いが行った経営計画発表会で同友会と出会ったこと、支部役員時代や代表理事になった経緯などを報告いただきました。

ちょうど同友会と出会った頃に会社のピンチが訪れ、その状況の中ヨーロッパの見本市へ行ったことで、松尾さんの考え方が変わったそうです。そこに東京テーブルウェア・フェスティバルへの出展の話が来た（チャンスが来た）、まさにチャンスと出会うまでを「第二部人生の転機」として。そのチャンスである東京テーブルウェア・フェスティバルにてチャンスを掴み、売り上げが伸び、会社の雰囲気も変わり、東京や大阪への出店など新たなチャンスとの出会いを、



「第三部チャンスを活かす」にて報告していただきました。

第四部はチャンスを活かしかし会社が変わっていくと松尾さんには「自分の周りが活性化することで自社も活性化する」という考えを持つようになり、東京テーブルウェア・フェスティバルにてキーマンとなる今田さんという方と出会い、その結果地域も活性化してきている事や白山陶器の今後やデザインへのこだわりなどを報告いただきました。

松尾さんが経営者として悩み、ピンチを迎えそこからチャンスと出会い、そのチャンスを活かす！！普段聞けないことを聞ける貴重な体験ができたと思います。また、松尾さんの熱い報告を聞くと胸が熱くなりました。このように報告を聞き、私は「チャンスは人との出会いによって訪れるのではないか」と思うようになりました。

私もピンチの連続でチャンスを活かしかれていないのですが、多くの学びの場に参加しそしてチャンスと出会いチャンスを活かす、またつながりあうことによって前へ進んでいきたいと思いました。

同友会のスローガンににある様に、皆さんで同友の輪を上げ、同友会をチャンスを活かす場、出会う場と考えてこれからも発展活性化させていきましょう。

(文責 府川 正樹)

V・ファーレン長崎



V-FALCONS
NAGASAKI

応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員（長崎出島支部）

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

北松浦支部 例会報告

日 時	11月17日(木) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	わが社の戦略 ～過去から現在までの経営と今後の展開～
報 告 者	(株)稲沢鐵工 代表取締役 稲沢 文員 会員



基本方針

For the Customer「お客様の使う立場・買う立場」で、お客様が求めている一番大事な要素「物」「こと」を実現することに徹する。

経営理念

我社は、挑戦者

私達は、常にお客様の満足と信頼の獲得を目指し、挑戦し続けます。

私達は、社員一人一人が力を合わせ働き甲斐のある会社を目指し、挑戦し続けます。

私達は、自らのビジョンを持ち行動し、自らの可能性に挑戦し続けます。

私達は、より優れた技術に挑戦し、社会の発展と社会の繁栄に貢献いたします。

稲沢鐵工のはじまりは、昭和30年。初代が鍛冶屋



として起業され、昭和58年に稲沢さんが24歳のとき帰郷され事業を引き継ぎ取締役役に就任されました。就任後には新工場の建設や機械の導入で作業の効率化もされ順調に事業拡大されていったようですが、「他と同じじゃ駄目だ、なにか違うものはできないか」と悩んでいた時期もあったそうです。そんな時に紹介してもらった方が、その後の事業の柱となる「デザイン階段」を作っており「これだ!!」と思い、今に至るそうです。

背景にはピンチをチャンスに変えた稲沢さんの攻めの姿勢があり、生き残りの為の心構えをしていたということがあったように思います。

振り返ってみれば、要所要所での人との出会いがあり、「しょんなかね!」から始まった付き合いのおかげで今の自分があるのではないかと言われていたことが印象的でした。

結びには堤さんの総括で「成功する人は水を汲むのが早い、成功し続ける人は井戸を掘るのが早い」と言った言葉で締めくくり、稲沢さんにぴったりの言葉で例会が終了しました。

今回は、一つ一つの細部までの原価や人件費などを把握している無駄のない経営と、やはり人と人との繋がりや付き合いが大事なんだと再認識できる例会になりました。

(文責 中村 寿弥)

五島支部 例会報告

日 時	11月19日(土) 18:30
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	日本一新鮮で美味しい魚を提供するために ～らしくない漁師の同友会での学び～
報 告 者	福栄丸 代表者 渡 慎吾 会員

11月は離島にある五島支部ならではの、というように会員に報告していただきました。漁業を営む渡さんです。

祖父、父親と漁師で生計を立ててきた家庭に生まれた渡さん、幼いころから祖父といっしょに漁に出たりし、漁師がどのような職業かはなんとなくわかってたつもりでしたが、中学、高校とあまりの貧困に食うや食わずの生活だったため漁師になるという選択肢は、当時はなかったそうです。違う道に進みたかった渡さんですが、高校時代は、昼間は学校、終わってから、深夜まで漁に出て生活費や学費を稼ぐという生活を送っていましたので、弟や妹の進学のために、そのまま家業である漁師になる決断をしました。

高校卒業後、本格的に漁師として仕事をしていく中



で、祖父の病をきっかけに、その日暮らしともいえるような経理の実態に直面し、運転資金の確保、滞納していた保険の支払い等を水揚げの中から確保し、健全な経営を目指したそうです。しかしながら、父親や乗組員からの反発は強く、何年間かは衝突が続き、渡さんは本当に孤独感を感じたそうです。そんな中、幼いころに祖父と海へ出た時に機関トラブルで漂流し、祖父から「お前だったら、こんなときどうする？」という言葉が思い出され、現在おかれた状況で最善を尽くすという考え方を胸に、辛い何年間かを乗り切り、



父親や乗組員の理解を得ました。またその時には「人を動かすのは、理屈ではなく気持ち」ということにも気づき、苦労はしましたが様々なことが学べた期間だったのではなかったかということでした。

現在、渡さんは五島から本当に美味しい魚を出荷するために「神経締め」という締め方を会得され、科学的見地からも美味しさを追求しています。今後も渡さんの「らしくない漁師」の活動に注目です！

(文責 勝本 政裕)

九州・沖縄ブロック 代表者会議および第2回幹事会 参加報告

開催日：11月10・11日(木・金) 会場：東京同友会会議室およびアルカディア市ヶ谷



代表理事 松尾 慶一

11月10日～11日にかけて、みっちり2日間の全国会議でした。会社に出勤するより1時間早く家を出て市ヶ谷の会議室へ直行です。

13時より3時間の会議は中同協財務委員会でした。これは初参加で、中同協の財務については従来、関東地区の役員さんのみで話し合われていましたが先の負担金増の後、各ブロックからの意見も必要となった為、今年度から各ブロックから委員を選出し、中同協の方針の確立、予算作成、執行状況の確認、財務分析、

修正の検討、各同友会の財務状況の交流と分析を行い、同友会らしい財政のあり方について検討・提起を行うこと、財務に関する問題について研究し、提案を行うと確認され、中長期的な財政の課題を検討し、更には消費税の問題も出ました。各地同友会の中には消費税を納める所もあり税務署も地域で見解が異なるとの情報もあり中同協の見解の必要性を確認しました。

夕方は九州・沖縄ブロックの代表者懇親会で恒例の本音の話合いをしました。翌朝も引き続き九州・沖縄ブロック代表者会議で情報交換を行う中、全国的な青年部連絡会の活動状況と今後の対応を話し合い、鹿児島全研の支援体制から共同求人活動の在り方等、深く協議しました。

13時～17時、7月の大阪総会以来の第2回幹事会が42同友会122名の参加で開催され鋤柄会長から元気良く挨拶をいただき、私達はここで協議したことを持ち帰り実践しなければならないと責任の重さを改めて痛感しました。それから報告事項・審議事項と進み12月発行の『経営指針成文化と実践の手引き』を紹介され、会内に於いて人を生かす経営の実践がなされているかとの問題提議の後グループディスカッションをした時、千葉・福岡・熊本・東京・島根・滋

賀・宮崎の経営指針の作り方と活かし方、実践の現状などを聞き大いに参考になりました。歴史のある同友会は過去に作成に対して凄いエネルギーを使った後、休み、再開して来ている。新しい同友会は素直に作成セミナーを行い新会員の受講は必須と位置づけているが悩みは、経営理念や計画書が出来ると辞めていく。入会目的が指針書を作成することであった人々は、目

的を達成して退会してしまうという様に各地、苦勞されておられることが判りましたので計画的に実践すること
で長崎は伸びしろが有ると言い聞かせました。

最後は広浜幹事長が益々、労使関係を学び実践しよう
とまとめられました。20時30分の帰宅でしたが、実り多い2日間でした。

事務局次長 峰 圭太

11日は午後からの幹事会前に九州・沖縄ブロックの代表者会議が開催されます。2月開催の九州・沖縄青年部の合同例会（福岡同友会主催）や鹿児島全研、事務局の労働環境など多岐にわたる意見交換と確認が行われました。来年7月には財政や事務局の課題と代表役員の企業づくりの課題を交流する代表役員と事務局長の交流会が福岡で開催されることが決定するなど九州・沖縄の連携の深さを感じる有意義な会議でした。

午後からの幹事会は各ブロックからの報告事項、専門委員会からの報告事項を経て様々な審議がなされました。第3部では「経営指針の成文化と実践の手引き」について玄地プロジェクト委員長から経過報告、中山

経営労働委員長から問題提起がありグループディスカッションが行われました。

幹事会では全国の正副代表理事や専務理事とのディスカッションとなるため、各地の実践事例や課題など企業経営や同友会での歴史から裏打ちされた意見をいただき多くの学びを持ち帰ることができたと思います。同友会運動の基礎である労使見解の学びを深め、目指すべき実践の形を明確にし、会内で仕組みづくりを行おうという広浜幹事長のまとめを参考に各専門委員会や理事会で共有していきたいと思います。

会員のためになっているのか、会員企業・地域の発展のために主体者意識を持ち、今後も運動の拡大を働きかけていきます。

憲章・条例推進本部・政策委員会合同会議 参加報告

開催日：11月9・10日（水・木） 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

政策委員長 宮田 正一

全国26同友会と中同協から76名の参加、長崎同友会からは、私と峰事務局次長が参加しました。

初日は、石渡政策委員長（条例推進本部副本部長）が座長、鋤柄会長の挨拶で始まり、まず中小企業憲章・条例推進運動の到達点と今後の取り組みについて報告と提起で議論しました。推進本部の体制としては、各同友会から最低1名の登録と会議への参加を要請され、毎年6月の「中小企業憲章推進月間」の活動については、国会へ出向き、国会議員へのアピールの場でもある「キックオフ集会」の現状と今後の方向についての報告もありました。

ここで、私見ですが民主党政権時代に閣議決定された「中小企業憲章」、そしてこれの国会決議を要望している私たちに対して、現在の自公政権は反応が非常に鈍い印象を受けています。取り組みの方向性を変えていく時期にきているのではと思います。

また、神奈川大学の大林先生による「中小企業憲章・条例推進運動の到達点について」と題した講演では、



同友会運動は、自社経営と憲章・条例推進運動を不離一体で進め、憲章の閣議決定や条例の全国での普及、日本経済と地域経済の将来ビジョンを描くなどの到達点にあります。こうした中小企業団体としての自主的運動は先見性があり、これはやがて普遍的になるものです。こうした先見性のある運動を生み出し続けることが永続的な憲章・条例推進運動を強化する基礎となります。という内容でした。この中身を会員へ如何にして伝え、語り部を増やし、会員が実感として自社経

営に生かしていける運動となるか、まだまだ課題が多いと感じています。

二日目は、佐々木政策副委員長を座長として始まり、外形標準課税適用拡大に対する対応や、金融問題についての対応、そして「2018年度国の政策に対する中小企業家の要望・提言」の構想について報告がありました。その後、各同友会から条例・政策活動についての報告がありました。長崎同友会でも実施している

県担当部局（長崎県は産業労働部）との意見交換会や懇談、金融機関との連携協定、景況調査の現況、教育機関や他の地域経済団体との交流、学習会の開催などの内容でした。

前回に比べ、参加者も増えており、各地の熱心な取り組み、いろいろな議論、今回もたいへん勉強になる機会となりました。

事務局次長 峰 圭太

1日目は鋤柄会長の挨拶から始まり、憲章・条例推進本部の体制や来年度のキックオフ集会、定時総会の分科会の内容と成果、日本経済ビジョン（討議資料）の資料データなどが報告されました。その後神奈川県大学大林先生から「中小企業憲章・条例推進運動の到達点」のテーマで報告があり、杉村副本部長から問題提起、グループディスカッションという流れで進みました。

1日目で得た学びや確認した事項としては同友会運動における最高の到達点とも言われる条例推進運動がなぜ必要なのかという点です。地域貢献や地域の活性化が目的と言われますが、条例制定や推進を行う中で地域を知り、課題を発見する能力が身に付き、同時に政策を読み取る力も身に付きこの連鎖が自社課題を発見することにつながるということです。自社課題を克服することで強い会社になり雇用を守る、これが結果的に地域貢献の一つだという結論に達しました。またよい経営環境は自分たちで作り、小さい企業だからこそできることがこの条例運動であることも再確認で

きました。憲章や条例は難しいという先入観があるかも知れませんが、会内にしっかりと情報を伝え担い手を増やしていくためにもこの運動を拓ける必要があります。

2日目は金融庁から発表されたベンチマークの確認や税制に関する全体討議が行われ、あらためて事務局として政治や金融情勢に対してアンテナを張り情報を咀嚼し自分の言葉で会内に発信することが必要だと感じました。

午前中で閉会した合同会議後、午後からは政策担当事務局員研修交流会に参加、文教大学の梅村先生、愛知同友会の池内事務局員から実践報告をいただきました。政策活動を通して総合的に考える力を養い、企業訪問を重ねることで企業の現状や地域を知り、経営環境における外部環境を少しでもよくできるような運動の到達点を目指していきたいと思います。

今回参加させていただきあらためて政策活動や条例推進運動において事務局としてさらに学びを深めていくことが大事だと感じました。この気づきを会内で共有し今後拓けていきたいと思っています。

経営理念策定セミナー 開催報告

開催日時：11月19日（土） 会場：つくば倶楽部



今年度は「経営指針」策定セミナーを秋ごろと恒例の2月の2回実施しようと計画しておりましたが、日

程が合わず今回大村方式による「経営理念」策定セミナーを開催致しました。各支部よりスタッフ・事務局合わせて19名の参加となりました。

はじめに、「実践コール」を諫早支部経営労働委員長の松田が大声で叫び、気合を入れました。まず宇土委員長より「経営指針はなぜ必要か」について経営指針成文化と実践の手引きのテキストに沿って説明があり、次に島原支部経営労働委員長の永吉誠さんより「我社の経営理念」の実践報告がなされ、産みの苦しみだった実体験の報告がありました。

その後、大村方式による経営理念の策定にとりかかりました。島原支部の（有）北浦木材の北浦さんが作

成者となり、宇土委員長より会社の概要、何のために経営しているのか等、質問がなされ、それに対して北浦さんよりそれぞれ本音の回答がありました。その中に繰り返し出てくる言葉が経営理念を作る上でのキーワードとなります。

昼食後、昼からは三つのグループに分かれ、それぞれ2名の計6名が作成者となり、スタッフがアドバイスする形式をとりました。作成者はまず経営理念箇条書きシートにそれぞれ書き込みました。それに基づきそのグループ全員が討論を重ねながら経営理念を作り上げていきました。一人では固定観念があり、なかなか前に進まない経営理念づくりですが、周りの人が協力することによって、自社にピッタリ合った経営理念を作成することが出来るのが、大村方式の最大の利点です。



最後にそれぞれ出来上がった経営理念を発表し、皆さんすがすがしい表情を浮かべながらの閉会となりました。

(文責 諫早支部 松田 卓)

第2回 新入社員フォローアップ研修 開催報告

開催日時：11月26日(土)13:00 会場：諫早市社会福祉会館



第2回新入社員フォローアップ研修に15名の新入社員の方々に参加いただきました。

研修1先輩社員からの事例報告 テーマ「入社から今までの歩み」では、(株)エイコー商事 牧山弥優さんが事務で入社後営業に配置転換され、始めて自分一人で営業成績を上げたこと、また今までに至る悩みを包み隠さずお話しされ、九一庵食品協業組合 島崎貴裕さんが途中で入社しパートさんから仕事を教えてもらいながら仕事の生産性を上げていった話、(株)ドゥアイネット 田中雅崇さんからは入社後うつになり長期休養した後、今は仕事にやりがいを感じている体験を話していただきました。

新入社員からは、仕事とプライベートとモチベーションの関連やどう対応したのか?等多くの質問が相次ぎました。

新入社員と目線に近い先輩社員の話を聞くことで各人多くの気づきがあった事が見て取れました。

新入社員の一人からは、「会社を変えるために入社



した。これから夜のシフトに配置転換になるが全ての作業をマスターしていく」との心強い発表がありました。

研修2では長崎新聞社販売局NIE・読者ふれあい室長の小林寿人さんから「上手な情報発信とは」と題し、新聞を使った新聞の活用方法と読み方。相手に文字で伝えるための見出し＝目を引くキーワードのつけ方、リード＝記事の概要のまとめ方、サブメッセージ＝根拠の伝え方を学びました。新入社員の上司への報告にも活用ができ、実践的な学びを身につけることができたと思います。

今回、ご参加、ご協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。今後も共に育つ学びの場を企画していければと思いますので、引き続き宜しくお願いします。

(文責 長崎浦上支部 松本 一孝)

私たち、がんばってます!! ～新入社員奮闘記～

2015 年度長崎同友会初の合同入社式第 1 期生上原さん((株)オフィスサポート：長崎出島支部)、西崎さん((株)長崎地研：佐世保支部)、大井さん、橋本さん(ともに(株)富建：大村支部)、平崎さん(白山陶器(株)：佐世保支部)。入社して 1 年が経った「今」取材しました。



(株)オフィスサポート

上原 聡さん

■今のお仕事内容を教えてください

システム開発、PC の修理やホームページ作成、保守点検等を行っています。中でもシステム開発に関しては請求書や納品書をエクセル等で手入

力しているお客様の要望に対してシステムを設計しつくりあげる仕事になります。完成に至るまで時間をかけ共につくりあげるためやりがいがあります。

■自分が成長したと感じる点を教えてください

お客様とのコミュニケーションがとれるようになったと思います。最初はうまく話せませんでしたが技術の話ばかりではなく、色々な雑談の中からヒントを得ることでお客様との距離が近くなりました。打ち合わせの準備に力が入り、たまに名刺を忘れたり、お客様の事務所に忘れ物をするなどちょっとしたミスはありましたが今後はこのようなことがないよう気がけて行きたいと思います。

■今後の抱負を教えてください

自分で営業し受注、システム開発という今の仕事の延長線上でもっと規模を拡大していきたいと思っています。そうすることで会社の規模も大きくなり、自分の成長に繋がると 생각합니다。



(株)長崎地研

西崎 大修さん

■今のお仕事内容を教えてください

営業として官公庁を中心に民間のお仕事などの積算見積もりや入札準備などの業務に携わっています。仕様書によっ

ては国、県の基準など様々な数値の取り決めがあるのでたくさんの方に囲まれて仕事をしています。

■現在、仕事に対する課題は何ですか？

入社当初から比べて徐々に金額も合うようになってきましたが、まだまだ経験不足でお客様に対する提案の引き出しが少ないことです。打ち合わせ段階でお客様に提案でき

るよう、またその場その場でいい決断や判断ができるよう上司に指導をいただきながら成長したいと思います。

■今の仕事で誇りに思う事を教えてください

災害対策工事や環境整備事業なども行っており、完成した現場を見るとその事業に携わった一員であることに誇りを持っています。

■今後の目標を教えてください

来年の 3 月に建設業経理事務士 2 級、10 月には土木施工 2 級の資格をとるため勉強しています。事務士の資格については現在社内でも 1 人しか有資格者がなく、今後の会社の経営審査の点数に大きく関わることもあるのでがんばってとりたいと思います。また上司から少しずつ業務を引き継ぎ、任せてもらえるように日々勉強！という姿勢で業務に邁進します。



(株)富建

大井 智穂さん

■今のお仕事内容を教えてください

主にリフォームの提案営業を行っています。展示会に来られたお客様やお問い合わせのお客様のご要望に対して「私の個人的なお勧め」も含めて

ご提案しています。キッチンやお風呂、フローリングなどご要望は様々ですので誠実にお客様と向き合う事を心がけています。

■やりがいを感じる部分を教えてください

一番はお客様からの「ありがとう」です。自分が担当したお客様の工事に関しては段取りから現場まで立ち合わせていただきます。社内では、なかなか仕事に慣れず同じ部署の先輩には迷惑をかけてしまいがちですが、色々教えていただきますのでとても居心地がいいと感じています。

■今後の目標を教えてください

まずは色々なカタログを読み、商品知識をもっと増やすことが先決です。より早く見積もりができるよう、スピードアップもがんばります。そして自分の時間をつくれるようになったら趣味の写真撮影ができていないので仕事と趣味を両立できるようになりたいと思います。



(株) 富建
橋本 篤志 さん

■入社から今までを振り返って
いかがですか

入社当初は工事課で図面作成など内勤が多かったのですが、今はエンジニアリング部の所属で住宅の外装施工の現場仕事が多くなりました。現場に出ると机上での知識に加えて新しい知識や対応が求められるので現場から学ぶことがとてもたくさんあります。そのような経験や知識などを評価していただいたのか、10月末に主任職の辞令もいただきました！プレッシャーはあり

ますがその分やりがいも感じています。担当する現場が、自分が思い描いた様に完成すると嬉しいですし、お客様から感謝の言葉をいただくとまた次へのやる気に繋がります。

■今後目指す姿を教えてください

現場でも1番であることです。誰からでも頼られる存在になりたいと思います。現場の仕事で自分では大卒では理解していたつもりでも、やはり細部の詰めがまだまだだったり…と感じる部分もあります。今後は小さな部分までしっかり段取りや現場がまわるように勉強していきます。同時に二級建築士の資格もとりたいと思います。なかなか現場仕事が多く勉強まで至っていませんがどこかでスイッチを入れてしっかり勉強し名刺に資格を記載できるようにしたいと思います。



白山陶器(株)
平崎 結 さん

■入社から今までを振り返って
の感想を教えてください

私は陶器の絵付けの仕事に携わっていますが、入社当時と比較し任せられる商品の種類が増えてきました。商品によっては曲線部分の絵付けなどまだまだ難しい部分もありますが自分が絵付けした商品が見本通りになるよう毎日が勉強です。

■今の仕事環境はいかがですか

入社から3ヵ月ぐらいは毎日が緊張の連続でした。しかし徐々に周りの先輩とコミュニケーションがとれるようになり、リーダーのご指導もいただきながら充実していると

思います。ランチタイムの雑談でも日々癒されています。

■波佐見陶器市を経験された感想をお聞かせください

毎年5月に陶器市があり、昨年に引き続き2回目の参加をさせていただきました。昨年度はとにかく大勢のお客様に囲まれ包装やレジへの誘導などいっぱい大変でした(笑)。今年は昨年を経験しましたので少し余裕があり、ご来店いただくお客様が、私が絵付けした商品を手にとっていただくととても嬉しかったですね。普段は現場でお客様の反応を直接拝見することができないのでいい経験になりました。

■今後の意気込みを教えてください

まだまだ教えていただくことが多いです。絵付けの技術に関してはゴールがないので1つ1つしっかりと商品をつくっていきたいと思います。

佐世保支部 第4回 交流イベント「大イカダに乗り、魚釣り」開催報告

開催日：10月16日(日) 会場：迎パールマリン

初めて同友会の例会以外のイベントに参加させていただきました。

私自身釣りはあまり経験がなく、道具もほとんど持っていなかったのですが、イベント部会の皆さんが竿や仕掛け餌など釣りに必要な物はほとんど準備してくださり、釣りを始めてからもトラブルがある度に丁寧に対応していただきとても楽しい時間を過ごすことができました。

その間にも昼食の準備や片付けなど任せきりになるのではなく、気が付いた人がそれぞれ手伝い合ってイベントを作り上げ無事大成功に終わり、ぜひ次の機会があれば参加させていただきたいと思いました。

いつも例会やその後の懇親会でも皆さん和気藹々としていますが、今回のイベントでは家族連れの方々も多く、普段の例会等では見られない一面を見ることが



できて新鮮な感じを受けました。私は今はまだ一人の個人事業主ですが、将来社員を雇用したときに、社内でこのようなイベントを行い親睦を深め、普段職場で



は見ることでできない可能性を見つけることにも活用していきたくて思いました。

同友会は、ただただ会社経営などの勉強をするだけでなく、地域の社会資源の発見やイベントを通しての社員との関わり方を考える上でも大変参考になることが多く、周りの皆様に様々な意見を伺うことができ会社組織をあらゆる面で豊かにしていくためのヒントを得ることができる素晴らしい会だと改めて思いました。

私はまだ入会したばかりで同友会について知らない



ことが多くあると思います。これから進んで役などを引き受け、同友会という組織をより深く理解し、自分の会社に還元していきたいと思っています。

この度のイベントで準備をしてくださった皆さん、この場をお借りして心から御礼申し上げます。これからのイベントも楽しみにしていますので、ぜひよろしくお願いします。

(文責 平山 祐二)

長崎浦上支部 仲間づくり委員会 ミニ例会 開催報告

開催日時：11月10日(木)19:00 会場：長崎シティーホテル アネックス3

テーマ：こんな会社で働きたい!! 人が集まる人材育成法

講師：いでぐちコンサルティングオフィス 代表者 出口 晃司 会員(長崎浦上支部)



7月に引き続き長崎浦上支部仲間づくり委員会主催のミニ例会という位置づけで開催しました今回の勉強会には、オブザーバー4名を含めた12名が参加されました。

テーマは人材育成。講師に人材育成コンサルタントでもある出口さんをお迎えし、実際に好業績を上げている全国チェーンの居酒屋の事例をもとに、どうしたら人が集まり育っていくのかを講義いただきました。

どのような会社で人が集まるのかという点では、「大企業だから」「給料がいいから」ということではなく「働

き甲斐がある」ということが重要とのことでした。事例の居酒屋ではスタッフに権限を与え、スタッフの創意工夫に対して表彰することで働き甲斐を創出していました。

人材育成については「同じ目標を共有し、相互尊敬、相互信頼し合える」環境をつくり「コミュニケーションが図れる風通しの良い組織」を作ることが重要で、参加者が自社に照らし合わせて考えられるようポイントを表にまとめた説明があり一同メモを取りながら耳を傾けていました。

講義の後の懇親会では支部特有の和気あいあいとした雰囲気の中、オブザーバーの皆さんもご自分の近況や仕事の話で盛り上がり懇親を深めることができました。

当日の入会はなかったものの、お一人が検討して下さるとのことでした。このような企画を実行し続けることで、仲間づくりのしくみとして機能することを実感することができ、いい勉強会となりました。

(文責 仲間づくり委員長 山崎 功)

事務局企業訪問

諫早支部（株）石橋工業 石橋ゆかりさんにお話を伺いました。



（株）石橋工業は1988年にクレーン揚重業として今は亡き御主人が創業。

人の手では持ち上げられないものはなんでも取り扱うということで、鉄骨建方、資材上げ、家の棟上、海のテトラポット、重量物の据え付け、ピアノ吊りなどなどです。

石橋さんは諫早市多良見町で生まれ育ち、おばさんのいる京都で高校進学、美容専門学校へと通い就職。その後いろいろと経験しながら長崎に戻り、めぐり合いがあり結婚。前社長である御主人が脱サラをして一人でクレーンの仕事を始められたそうです。

結婚後、仕事は少し手伝うくらいでしたが、御主人が病を患うことで石橋さんが手伝う機会が増えていきました。そして2006年に御主人が亡くなります。いつか戻ってくると思っていたためまったく引継ぎはしていませんでした。どうしたらいいのかまったく分からず、なんとかしなければと悩み、眠れない日が続きました。そんな時に相談に乗ってくれたのが、諫早支部の会員であった松新の故・山田圭一さんでした。親身になって経営の相談に乗ってくれ、経営者がたくさんいて経営の勉強ができるからと同友会を紹介され、入会します。

石橋さんは入会後に、わらにもすすがる気持ちでたくさんの方に相談をしました。そこでいろいろな考え方を知ることができ、仲間も増えました。「一人で悩んでいたら落ち込んでしまい、どうなっていたか分からない。たくさんの方に出会えたことが良かった。」と当時は振り返ります。

＜経営理念＞

同友会に入って良かったこととして、経営理念の大切さを学んだことと語ります。

経営理念ができる前は社員の考えはバラバラでまと



まらず不満も多く出て、社内でケンカもしばしば起こっていました。このままでは良くない、みんなの目指すもの・考えのものととなるものを作らなければと、経営理念を作成しました。

そこで石橋工業で一番大切なのは社員であり、会社は社員のためであると成文化しました。

経営理念作成後、顧問の社会保険労務士の方から会社の雰囲気が良くなったねと言われ、社員の対応も以前に比べ良くなり、少しずつ経営理念が社員にも浸透して会社と社員が同じ方向を向けるようになったと感じられるようになりました。

＜これから＞

長崎新幹線の特需があと5年くらいで終わるので、その先のことを見据えて動かなければなりません。しかし、クレーンの仕事は決してなくなることはないと考え、社員に今よりも高い技術力とコミュニケーション能力を身に付けてもらうための社員教育をしっかりととして、社員と共に育つ会社づくりをしていきたいと語りました。

今回の企業訪問では石橋さんが社員を一番に考えていると何度も話されていることが印象的で、最後に「私に力は本当はない。社員さんの力で今の石橋工業が成り立っている。うちの社員さんは高い技術力を持っているのでどこに行っても通用するのが自慢。そんな社員を育てることができた会社になったのが嬉しい。」という言葉が心に残りました。これからの石橋工業の発展を祈念いたします。ありがとうございました。

＜（株）石橋工業＞

「経営理念」

1、社会への貢献 2、共存 共栄

「経営方針」

常に、三方良し（社員良し、お客様良し、会社良し）と言われる会社を目指す。

- ・利益を確保し、会社の恒久的な発展を図ると共に、社員と家族を幸せにする会社。
- ・お客様から信頼される仕事ができる会社
- ・安全第一で災害ゼロの会社

この夢を実現するために、全社員が知恵と汗を出し合い、一步一步前進する。

〒854-0063 長崎県諫早市貝津町 2726-10

電話：0957-26-0040 FAX：0957-26-0037

（文責 事務局 田口 友廣）

新入会員の皆さんです＜11月入会・交代＞

(敬称略)

＜入 会＞

支 部 名	大村支部			
氏 名	おおひら しん 大平 伸			
企 業 名	(株)クロダ			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒854-0081 諫早市栄田町20-31			
T E L	0957-26-3217	F A X	0957-26-9180	
業 種	建築資材販売・木材加工			
企 業 P R	株式会社クロダは、対馬檜をはじめとする国産の優れた木材を利用した家づくりのお手伝いをしています。また、湿度のコントロールに優れた木由来のセルロースファイバーによる断熱工事や木材をシロアリから守り長持ちさせる天然ホウ酸の責任施工を通じて健康で安心な家づくりのお手伝いをしています。			
スポンサー	高瀬 邦彦			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	すえたけ ひこしろう 末竹 彦司郎			
企 業 名	春風税務法律事務所			
役 職 名	共同経営者			
企 業 住 所	〒857-0806 佐世保市島瀬町4-12-811			
T E L	0956-25-4020	F A X	0956-25-0780	
業 種	弁護士			
企 業 P R	民事、家事、刑事事件から企業の相談まで幅広く対応する法律事務所です。			
スポンサー	橋本 裕次郎・林 直輝(福岡同友会)			

＜交 代＞

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	やまもと よしひろ 山本 喜裕			
企 業 名	(株)サンフリード			
役 職 名	取締役長崎営業部統括部長			
企 業 住 所	〒851-0134 長崎市田中町584-1			
T E L	095-813-8787	F A X	095-813-8788	
業 種	米穀食糧品卸売業			
企 業 P R	食の安心、安全を基にコンプライアンスを順守し、「心からありがたい」と感謝される企業」をめざしています。			
前 会 員	服部 良一			

会員活躍

長崎新聞 11月28日

情報発信テーマ
新入社員に講話
本社の小林室長 謙平
長崎県中小企業家同友会
(代表理事・松尾慶一・白山
陶器社長)は26日、諫早市
内で第2回新入社員フオー
ムアップ研修会を開き、長
崎新聞社NIE読者ふれあ
い室の小林寿人室長が、上
手な情報発信とは「のテー
マで講話をした。



「の」の三つのパートに分かれ、大半の記事は結論から先に書かれていてと説明。新聞で社会の動きが分かり、自分の考えを生み出すことにつながるなどとして「毎日読む

長崎新聞 11月30日 長崎出島支部 田本 佳史 会員

新上五島町有川郷の五島灘酒造(田本喜美代社長)がこのほど、五島列島に100年以上前から伝わるサツマイモの品種「金ぼけ」を使った焼酎「明治之芋 五島灘」を製造。販売を開始した。製造に携わった同社の田本佳史専務(35)は「古里ならではの焼酎を県内外にアピールしていきたい」と意気込んでいる。



歴史あるサツマイモで新製品

五島灘酒造



「金ぼけ」焼酎完成

同社によると、金ぼけは1909年に米国から導入され、九州や四国に広まった。田本専務がその存在を知ったのは2009年11月、焼酎の原料に使う芋を「明治の芋」として「五島の歴史」などと言われ

販売1000本 華やかな香りとキレ

内社会福祉施設に依頼して栽培を開始。3年がかりで1600kgを収穫できた。基すき強い枯れが出来るため粉砕する際に機械を止めたこともあるなど製造過程でも苦労した。田本専務は出来上がった焼酎を口にした時「今まで造っていた焼酎より香りが華やかでキレもある。やっと求めたものができた」と手応えを感じたという。2年間熟成させた。来年2月の同社創立10周年に向け、今年9月発売に踏み切った。

お知らせ

長崎新聞 新春特集号 掲載

2017年1月1日発行 長崎新聞の新春特集号にて新春トップインタビュー「長崎の、その先の風景」に、長崎県中小企業家同友会 松尾 慶一 代表理事として掲載される予定です。ぜひ掲載の折には記事をご覧ください。

戦略的ホームページ設計とSNSプロモーション手法のセミナー参加報告

11月17日（木）に開催されました（公財）長崎県産業振興財団主催の表題のセミナーに事務局 田口が参加させていただきました。ホームページ、FaceBookを作っても売りに上げにつながらない、集客できない、という悩みを解決す

るための手法や事例について説明がありました。当日の概要をe.doyu掲示板にて参加報告をアップしておりますので、ご興味ある方はぜひご覧ください。

「中小企業向け個人情報保護法」説明会参加報告

11月25日（金）に開催されました個人情報保護委員会事務局主催の説明会に事務局 田口が参加させていただきました。2015年9月に改正個人情報保護法が公布され、2017年春頃に全面施行となります。これまでは「保有する個人情報の数が5000人以下の事業者」には個人情報保護法が適用されませんでしたが、今回の改正により個人情報を取り扱うすべての事業所が個人情報保護法となります。ここで中小企業にとって押さえておくべきポイントの説明がありました。当日の概要をe.doyu掲示板にて参加報告をアップしておりますので、ぜひご覧ください。

12月理事会 議事録 抜粋

2016年12月1日（木） ホテルニュー長崎

開会挨拶－松尾代表理事

今年も残り1ヶ月となりました。4月までの残り期間もよろしく願います。今日は、お疲れさん会もありますのでしっかり議論し、しっかり盛り上がりましょう。年末にかけて忙しくなり、事故や怪我などがないよう頑張っていきましょう。各理事の皆様は多々宿題もあるかと思いますが本日はよろしくお願いします。

仲間づくりについて

- 1)入会・復会交代・退会の承認について
－1名の入会、1名の復会交代、5名の退会を承認

- 2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括－※第2クール支部賞、スポンサー賞の表彰
※前回までの理事会を受けて、ケア部隊、訪問部隊、新入会員のフォローアップについて各支部、県委員会で協議
県委員会…支部の意見を集約して今後の課題とする

（西山委員長より）

11月24日三役会開催前に正副委員長と協議し年内600名を必達することを目標として掲げました。三役会でも年内600名の目標を報告し確認しています。また11月28日の県委員会では600名に向けて具体的なリストアップや支部長と仲間づくりに関する意識の再確認も行っています。1月の賀詞交歓会では600名達成をお祝いできるようよろしくお願いします

＜第2クールキャンペーン結果＞

支部賞…大村支部（1位）、五島支部（2位）、佐世保支部（3位）
スポンサー賞…大村：高瀬会員（1位）、佐世保：関会員（2位）、大村：上谷会員（3位）

協議・承認事項

- 1)第23回経営フォーラムについて

→収支を承認。また大塚実行委員長より「第23回経営フォーラムを終えて」報告。次回以降のフォーラムで委員会の進め方等参考にしていただくことを確認

- 2)2017年度に向けて

- ①2017年度予算案について

→予算案を提案

→石橋財務委員長より詳細の説明、提案、峰事務局次長より定時総会、フォーラムの参加費等補足説明

（総じて）

各支部役員会で協議の上、意見をまとめて三役会に提出、次回理事会にて検討する

- ②各委員会からの予算申請について

→例会委員会、政策委員会、女性部会・障がい者問題担当委員会（ダイバーシティ委員会）から申請

→上記3委員会からの提案を承認

- ③来期活動方針案について

→松尾代表理事より2017年度活動方針案の提案。各支部役員会で、意見等があれば三役会に提出、次回理事会にて、検討

- ④第45回定時総会について

（前回理事会までの決定事項）

4月18日（火） ホテルニュー長崎

（今回提案事項）

式次第案、会場案、記念講演者

熊本同友会 早咲 京子 氏 （株）咲 代表取締役

→式次第案、会場案を承認。記念講演に関して熊本同友会 早咲代表理事に依頼を承認

- ⑤女性部会・障がい者問題担当委員会の名称変更について

→来期からダイバーシティ委員会へ変更の提案

（三役の意見として）

方向性は理解するが逆に取り組む課題が多くなりすぎるのではないか。女性部会、障がい者問題を分けてそれぞれの課題に取り組む方が混乱を避けられるのではないか

（中村委員長の意見）

逆に専門的に分ける必要があるのか。人間尊重の経営をベースとする同友会として垣根をつくらない経営を目指すためにもダイバーシティ委員会として活動したい

（総じて）

理事会での意見を参考に、再度委員会にて協議、検討いただき次回理事会にて再度協議を行う

- ⑥共同求人準備委員会の発足について

（三役会案）

2017年度は準備委員会として立ち上げる提案。理事から意見を募る

→発足の提案を承認

- ⑦来期のスケジュールについて（各支部例会日程等）

→山口例会委員長から各支部例会日程調整後の提案

→各支部例会日程について、第1希望、第2希望を調整し日程の提案。長崎出島支部、島原支部において第2希望の日程となり、長崎出島支部は了承。島原支部は支部役員会で検討し次回理事会にて結果を報告する。北松浦支部に関しては全体と重複しないような日程設定を行うことを確認

- 3)2017年賀詞交歓会について（2017年1月20日（金））

（前回までの決定事項）

日程・場所…1月20日（金） サンプリエール、来賓一覧、式次第案

（今回確認・提案事項）

→司会等の役割については三役一任とすることを承認

- 4)大村支部より名義後援依頼について

→ガイドライン上問題なし

→大村支部として名義後援することを承認。また外部有料セミナーを会員全体に案内を告知することについても承認

報告・連絡事項

- 1)11月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

- ① 11月26日第二回新入社員フォローアップ研修開催(土井共有委員長)・所感
先輩社員3名の発表は、とても良かった。紆余曲折していくのが人生であり、仕事のつまずきも誰もが経験することだということがわかった。といったディスカッション後の発表がありました。二部の長崎新聞社からの講義は、報告・連絡・相談の基本を学んだと思います。新聞から情報を読み取る力、そして新聞の情報発信の仕方など、どの仕事にも通じる内容だったと思いました。
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)－(峰事務局次長代理報告)
年度後半になるにつれ、例会出席率が落ちる傾向にあります。目標の40%に対して39%という状況ですので出席者が増えるように各支部よりお願いします
- 3) 中同協 主要行事の紹介
- 4) 11月4日(金)知的財産活用セミナー参加報告(峰事務局次長)
→e.doyu掲示板参照
- 5) 11月9日・10日(水・木)中同協 憲章・条例推進本部、政策委員会合同会議参加報告(宮田政策委員長、峰事務局次長)
(宮田政策委員長)
多岐にわたる課題に関して議論が交わされた。毎年6月を憲章・条例推進月間として各地同友会色々な取り組みを行っている。
(峰事務局次長)
条例制定・推進運動が同友会運動の最高到達点と言われる理由の一つとして、運動に関わることで地域課題の発見能力が身に付き、政策を読み取る力がつく。そうすることでより自社の課題発見能力が身に付き、行政の施策や政策を活用することで自社課題の解決に繋がるということを学んだ
- 6) 11月10日(木)中同協 財務委員会参加報告(松尾代表理事)
- 7) 11月11日(金)九州・沖縄ブロック代表者会議参加報告(松尾代表理事、峰事務局次長)
- 8) 11月11日(金)中同協 第2回幹事会参加報告(松尾代表理事、峰事務局次長)
(松尾代表理事)
財務委員として指名され初めて参加した。九州・沖縄の代表者会議については、各地同友会の意見交換が行われた。鹿児島全研の参加動員について、長崎は30名の参加、10名のグループ長を目標としたので各支部ぜひ参加しましょう
(峰事務局次長)
幹事会資料(中同協専門委員会・連絡会・本部の役員に関する申し合わせ、全研アドバイザー)を報告
- 9) 11月17日(木)戦略的ホームページ設計とSNSプロモーション手法セミナー参加報告(田口事務局員)
→e.doyuおよび広報誌参照
- 10) 11月17・18日(木・金)人を生かす経営全国交流会参加報告(金井副代表理事、峰事務局次長)
(金井副代表理事)
今回のパネルディスカッションは内容はよかったが120分という時間の中で内容がありすぎて逆に課題が深堀りしづらいのではないかと思います
(峰事務局次長)
今回の参加で共同求人立ち上げのきっかけと決意が固まったのでよかった

- 11) 11月19日(土)経営理念策定セミナー開催報告(宇土委員長)
→経営指針成文化と実践の手引きが刷新されるため再度労使見解の勉強を開始する
- 12) 11月25日(金)中小企業向け個人情報保護法説明会参加報告(田口事務局員)(代理：峰事務局次長)
→2017年春から全面施行となる。個人情報の数が5,000人以下の事業所にも適用されるようになる。新入会員に対して長崎同友会の個人情報保護方針を渡しているが法律を勉強し再度内容を検討しなければならないと考える。
- 13) 11月28日(月)インターンシップ推進協議会参加報告(松尾代表理事、峰事務局次長)
(松尾代表理事)
学生が参加する企業として県庁や市役所など行政関連が多かった。当社も以前は受け入れを行っていたがカリキュラムの作成に苦勞した経緯がある。しかし今後の人の課題等考えると真剣に取り組む必要性を感じているので、今後5日～10日の受け入れではなく様々な中小企業の実態を知ってもらう上でも1日インターンシップを5社持ち回しするなどの意見も述べた。
(峰事務局次長)
会員にインターンシップ受け入れの要請を行っているがカリキュラムの組み方など実際に肌で知るために来年は事務局として受け入れを検討している
- 14) 11月29日(火)景況調査報告会開催報告(宮田政策委員長)
→6回目の景況調査を終えて今回分析報告会を開催。過去の回答数のうち、一番多い回で210。今後より実態に近い数字を目指すとして30%以上の回答率を目指したいので協力をよろしくお願いします。会の中でも議論になったが大きな課題は人。人がいなくても仕事がまわる仕組みを考える時代になってきたように思う。また今回の分析結果を会員企業の経営にどのように生かせるかも検討していく
- 15) 3ヵ月会費滞納者について－該当なし
- 16) その他

留意事項

- 1) 2017年 中同協役員研修会について
→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)
※5月25・26日(木・金)／長崎インターナショナルホテル開催の方向
- 2) 2019年中小企業問題全国研究会(全研)について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)
※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ－辻村副代表理事

今日は長時間大変お疲れ様でした。今期もあと4ヵ月です。残り皆さんでがんばりましょう。

※次回日程－1月理事会 1月6日(金)－つくば倶楽部

会員消息

●企業住所等変更 **栗崎 貴子 会員** (長崎浦上支部) 新住所：〒852-8104 長崎市茂里町1-55 ココウォーク1F
新TEL番号：095-801-5373 新FAX番号：095-801-5373

会 員 数 (12月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	107	86	71	69	60	122	44	24	583

退会者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
山 本 健 太 郎	(株)Anne	大 村	2011年10月
清 水 政 臣	(株)太陽商事	諫 早	2009年11月
永 田 孝 範	永田鉄工(株)	諫 早	2010年11月
野 澤 明 彦	(有)野澤運送	諫 早	2015年 4月
池 田 晃 寿	(株)池田工業	佐 世 保	2015年 8月